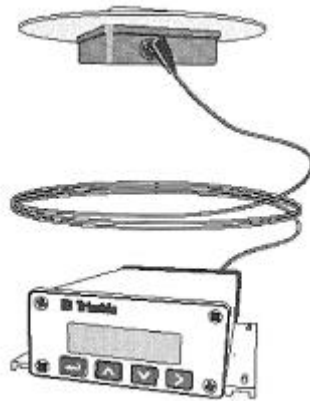


GPS 受信機「MS750」

(FW.V1.50)

-クイックガイド-

暫定版

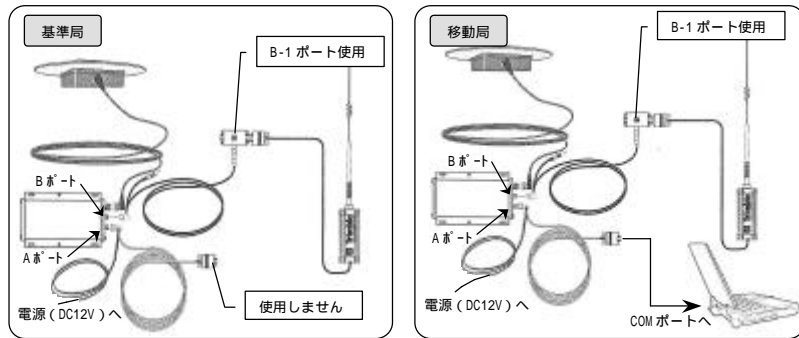


1. 接続図	2
2. 画面表示の説明	2
3. 各種設定	3
3-1. 基準局を設定する	3
3-1-1. 基準局座標を設定する	3
3-1-2. 通信条件を設定する	5
3-2. 移動局を設定する	6

株式会社 ニコン・トリンプル

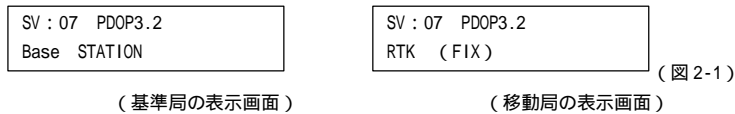
2003年11月版

1. 接続図



2. 画面表示の説明

受信機に電源が供給されると、以下の様な画面が表示されます。
これをホームスクリーン画面と呼びます。



移動局側の表示内容は、次の通りです。
SV : 07 ... 測位に使用した衛星数
PDOP3.2 ... 現在の PDOP の値
RTK ... 測位状態を表示

表示タイプ	表示内容
OLD POSITION	有効な測位の為に十分な衛星がない
AUTONOMOUS	単独測位
RTK(FLOAT)	RTK フロート解 (<1m 精度)
RTK(FIX)	RTK フィックス解 (<3cm 精度)
DGPS	デファレンシャル測位

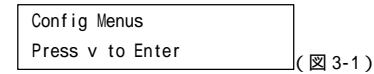
3. 各種設定

各種設定は、ホームスクリーンから『>』(右ボタン)、『<』(左ボタン)及び、『』(上ボタン)、『』(下ボタン)を押して、スクリーンを切り替えながら行います。
各項目の選択や数字の切り替えは、『』(上ボタン)、『』(下ボタン)を押して設定し、『』(エンター)で設定項目を決定します。
『』と『』ボタンを同時に押しつづけると、ホームスクリーンの戻すことができます。

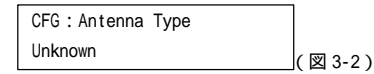
3-1. 基準局を設定する

3-1-1. 基準局座標を設定する

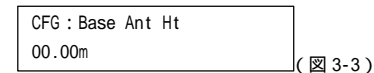
1. ホームスクリーンから『>』を2回押して、『Config Menus』を表示します。



2. 『』を1回押します。
3. 『>』を4回押して、『Config Base Stn』を表示します。
4. 『』を1回押します。
5. 『>』を1回押して、アンテナタイプの選択状態にします。

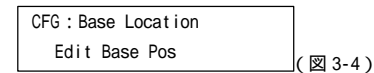


6. 『』または、『』を押して、使用しているアンテナタイプを選択した後、『』で決定します。
7. 『』を1回押して、アンテナ高の設定状態にします。



8. 『>』を1回押して、設定状態にした後、『』または、『』を押して、適切なアンテナ高(真高)を設定します。設定後、『』で決定します。

9. 『』を1回押して、基準局座標を設定します。



座標の設定は、次の2通りの方法があります。

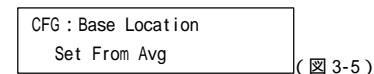
既知座標を直接入力する方法

- (1) (図 3-4) の状態で『』を押し、緯度・経度・楕円体高を設定します。
注意

アンテナを接続しないで設定することをお勧めします。
設定する値は、WGS 84 系の緯度・経度・楕円体高です。

単独測位の座標を設定する方法

- (1) (図 3-4) の状態で、『』を押して、下図を表示します。



- (2) 『』で単独測位の測位を開始します。
下図の表示に切り替わります。

Averaging: 01
to continue (図 3-6)

- (3) 妥当な時間を経過したら 『』を押して結果を表示します。
『』を押す毎に緯度・経度・楕円体高の表示に切り替わります。(必要に応じて値を変更
できます)
- (4) 下図が表示された後、『』を押すと(図 3-4)の画面に戻ります。
8. 『』を3回押して、下図の設定画面を表示図し、補正情報タイプと出力ポートを設定します。

CFG: CMR OUT
off (図 3-7)

『>』を1回押して、設定状態にした後、補正情報タイプを『』または、『』で選択します。
次に同じ要領で、補正データの出力ポートを選択します。
出力ポートは、『B-1』を選択することをお勧めします。

9. 『』を3回押して、下図の画面を表示します。

CFG: Exit Config
Press to Exit (図 3-8)

- 『』を押した後『>』を1回押して、『Config Menus』を表示します。
10. 『』を押した後『>』を2回押して、ホームスクリーン画面に戻ります。
基準局の設定が完了すると、ホームスクリーンの状態は次の表示になります。

SV: 07 PDOP3.2
Base Station (図 3-9)

上図のような表示にならない場合、補正情報の出力が設定されているか確認してください。

3-1-2.通信条件を設定する

補正情報を出力するポート (B - 1 ポート) に対して通信条件を設定します。
次表の内容を設定します。

ポート B - 1

データ長	8
パリティ	N (無し)
ストップビット	1
通信速度	9600

1. ホームスクリーンから 『>』を2回押して、『Config Menus』を表示します。
2. 『』を1回押します。
3. 『>』を2回押して、『Config Ports』を表示します。
4. 『』を1回押します。次の画面が表示されます。

CFG: Port A NONE
38.4k 8-NONE-1 (図 3-7)

5. 『』を1回押して、B - 1 ポートの表示にします。

CFG: Port B-1
38.4k 8-NONE-1 (図 3-8)

6. 『>』を1回押した後、B - 1 ポートの通信条件を設定します。
通信速度、データ長、パリティ、ストップビットの順に各項目を 『>』で移動して、『』または、『』で設定を変更します。下図の様に設定してください。

CFG: Port B-1
9600 8-NONE-1 (図 3-9)

7. 通信条件を設定後、『』を押して、通信条件を決定します。
8. 『』を5回押して、下図の表示にします。

CFG: Exit config
Press to Exit (図 3-10)

9. 『』を押した後 『>』を1回押して、『Config Menus』を表示します。
さらに 『』を押した後 『>』を2回押して、ホームスクリーン画面に戻ります。

3-2. 移動局を設定する

移動局では、NMEA・補正情報の通信条件、NMEAの出力タイプと出力間隔を設定します。次表の内容を設定します。

ポート A

データ長	8
パリティ	NONE (無し)
ストップビット	1
通信速度	9600
出力データ	NMEA「GGK」
出力データ間隔	1Hz

ポート B - 1

データ長	8
パリティ	NONE (無し)
ストップビット	1
通信速度	9600

- ホームスクリーンから『>』を2回押して、『Config Menus』を表示します。
- 『』を1回押します。
- 『>』を2回押して、『Config Ports』を表示します。
- 『』を1回押します。以下のような表示(ポートAの設定画面)になります。

```
CFG : Port A NONE
38.4k 8-NONE-1
```

(図 3-11)

通信速度、データ長、パリティ、ストップビットの順に各項目を『>』で移動して、『』または、『』で設定を変更します。下図のように設定してください。

```
CFG : Port A NONE
9600 8-NONE-1
```

(図 3-12)

- 設定が完了したら、『』で決定します。
- 『』を1回押して、B - 1ポートの表示にします。
ポートAと同じ要領で通信条件を設定し、『』で決定します。

```
CFG : Port B-1
9600 8-NONE-1
```

(図 3-13)

- 『』を2回押して、NMEAの設定画面を表示します。

```
CFG : NMEA GGK
Port A off
```

(図 3-14)

- 『>』を1回押して、NMEAの出力タイプを選択します。
『』または、『』を押して、『GGK』を選択します。

- 『>』を1回押して、出力ポートを選択します。
『』または、『』を押して、『Port A』を選択します。
- 『>』を1回押して、出力間隔を選択します。
『』または、『』を押して、『1Hz』を選択します。
- 『』で、NMEAの種類、出力ポート、出力間隔を決定します。
- 『』を3回押して、下図の表示にします。

```
CFG : Exit config
Press to Exit
```

(図 3-15)

- 『』を押した後『>』を1回押して、『Config Menus』を表示します。
さらに『』を押した後、『>』を2回押して、ホームスクリーンに戻ります。
基準局から補正情報を受信し、衛星を確保した後、しばらくすると下図のような表示になります。

```
SV : 07 PDOP3.2
RTK (FIX)
```

- NOTE -

- RTKの表示にならない
補正情報が正常に受信できていないことが考えられます。
基準局と移動局の補正情報の通信条件が同じであるか、適切に配線されているか確認してください。
- RTK (FIX) にならない
基準局で設定した座標値が適切であるか確認してください。